

# 子ども、青年の未来奪われてたまるか

## 戦争法案反対上越集會に700人

「戦争法案NO! 全国100万人大行動上越集會」は8月30日、かに池公園で行われました。雨の中にもかかわらず、法案の成立を許してはならないと上越地方の3市から700人もの人たちが駆けつけ、戦争法案反対の氣勢をあげました。



2人の子どもの母親である長澤美穂さんは、「日本は戦争のできる国に向かっていて、子どもたちが戦争に行くかも知れない現実をいま突きつけられている。一部の大人の勝手な都合で子どもたちの未来を奪われてたまるか。命よりお金を優先する人たちに



【センナリホオズキ】ナス科の一年草。漢字で「千成酸漿」と書きます。数年前、吉川区竹直にて久しぶりに出会いました。花をしっかりと見たのは今回が初めてです。黄白色の花が下向きに咲いています。写真は吉川区原之町にて撮影しました。

万人包囲行動が、全国津々浦々で100万人総行動ということ、たくさんの人たちが頑張っている。この上越の集會も大成功だ。日本共産党はみなさんとしっかりスクラムを組み、政党や宗教などの違いなどを乗り越えて、この法案をやめさせる、そして安倍内閣を打倒するために頑張る。ともにがんばろう」と訴えました。

最後に原発の県民投票実現めざし頑張ってきた橋本桂子さんが「平和な環境で暮らしたい、人間らしく生きたい、これは私たちの人間としての願い。この願いを根っこで支えて

未来を奪われてたまるか。子どもたちに未来のバトンを渡すまで絶対にあきらめない」と強い決意を語りました。上越市役所職員労働組合の沢田繁委員長は、「私たち、役所の職員は昔みたいに赤い紙を持って戦争に行けと配り歩くようなことはしたくない。絶対にしたくない。私たちは市民の命と財産を守るのが仕事だ。命を守らないでどうするのか」と訴えました。集會では社民党、日本共産党、民主党の代表も決意を表明しました。このうち日本共産党の上野公悦上越地区委員長は、「いま、こ

きてくれたのは日本国憲法です。安倍政権は日本国憲法の立憲主義・平和主義を根底から破壊しようとして企てています。私たちは、心から戦争法案の廃案を求めます」という集會アピールを提案し、採択されました。参加者は集會後、公園から市役所までの約2kmをパレードし、通行者などに法案廃案を呼びかけました。

このうち、8月に広島へ行き、被爆者の体験を聞いてきたという大学院生の西野原夢真さんは、「原爆投下時に10歳だった被爆者は、『地獄を見た。その光景は一生忘れることがない』と語っていた。(安倍首相がねらう)集団的自衛権はいらない」とのべました。

政権は許せない」と訴えました。続いて8人の市民が次々と登壇、戦争法案についての思いや廃案に向けた決意などを語りました。

このうち、8月に広島へ行き、被爆者の体験を聞いてきたという大学院生の西野原夢真さんは、「原爆投下時に10歳だった被爆者は、『地獄を見た。その光景は一生忘れることがない』と語っていた。(安倍首相がねらう)集団的自衛権はいらない」とのべました。

きてくれたのは日本国憲法です。安倍政権は日本国憲法の立憲主義・平和主義を根底から破壊しようとして企てています。私たちは、心から戦争法案の廃案を求めます」という集會アピールを提案し、採択されました。参加者は集會後、公園から市役所までの約2kmをパレードし、通行者などに法案廃案を呼びかけました。

はしづめ法一の活動レポート

No.1722 2015.9.6  
 発行編集 日本共産党前上越市議 橋爪のりかず  
 Tel 025-548-3628  
 通じないときは 090-5392-1961  
 E-mail hasiznyg@ruby.ocn.ne.jp  
 URL http://www.hose1.jp/

ブログ「ホーセの見  
 てある記」は  
 ← こちら

橋爪法一 検索



# 春よ来い

## 第三七〇回

## 気になる人

誰だって、元気がどうか気になる人は家族以外にもいると思います。そんな人はいないよ、自分のことで精いっぱいだ、そういう人もいるかも知れません。私には何人か気になる人がいましたし、いまもいます。いずれも八〇代から九〇代の人ばかりです。気になる存在となるきっかけは、たいしたことではありません。たいがい、お茶飲みです。「お茶飲んでいなかね」と何度も誘われ、いつしか仲良しになっている。そして、「どうしていなかね」と気になるようになっていくケースが多いですね。どういうわけか、そうした人は一人暮らしの方がほとんどです。

数年前に亡くなったTさんの場合もそうでした。早くお連れ合いを亡くし、一人暮らしになり、近所に住む同じ境遇の人と助け合い、生きていました。何度もお茶をご馳走になるなかで、気が合い、知らず知らずのうちに気になる存在となりました。

Tさん宅の玄関の重い戸を開けると、豆電球があり、その下に小さな鈴が下がっていました。「いなかね」と大きな声を出せば、奥の居間にいるTさんに伝わるのです。が、いつしか鈴をチリンチリンと鳴らすようになりました。チリンチリンとやると、Tさんが出てきて、「なんだ、おまさんか。まあ、入らない」と笑顔で迎えてもらったものです。

山間部に住むKさんも最近、気になる存在です。ここ数年、ほぼ毎月訪ねるようになりました。たまに家のカギがかかっていると、具合を悪くしたのではないかと心配になります。訪問したことを示すために、私の活動レポートをポストに入れておくのですが、ありがたいことに、必ず電話で、どうしていたかを教えてくれます。

お盆が過ぎたある日の夕方、Kさん宅を訪ねたところ、先客がありました。材木屋のY子さんです。遠慮していたら、「まあ、いいこて、さあさ、入って入って」と家に入ることをすすめられました。

この日、Kさんが出してくださった食べ物はいかどかボチャケーキです。どちらも美味しくいただきました。Kさんが話してくれた内容にびっくりしました。たぶん八月の半ばごろのことだと思えます。居間に一人でいた時、玄関の網戸がカラカラと音を立てて開いたと思ったら、なんとそこにはお猿さんがいたのです。幸い、Kさんは無事で、家の中も荒らされることはなかったのですが、猿が戸を開けて人の家に入ってくることもあるという話を初めて聞きました。

材木屋のY子さんとKさん宅で会うのは初めてでした。この日は女性用のズボンだが、もんぺだかを持ち込み、Kさんに直しを依頼しに來られたようです。「Kさんから直してもらったものは、はきやすいんだわね」という言葉を聞いて、Kさんが裁縫得意としていたことを初めて知りました。なんとなくうれしい気分でした。

私はY子さんとは顔見知りですが、じっくりと話をすることがありませんでしたし、話す様子を見たこともありませんでした。Y子さんは、家の中でも近所の人からも「機関銃」と呼ばれているほど話好きの人です。しゃべりはじめたら、口を挟む余地がないほどのテンポでどんどん話をします。この日も、Kさんと楽しそうに話していました。

Tさんの場合もそうでしたが、Kさんにとっても一人暮らしはたいへんであることは言うまでもありません。でも、気分的に孤立しないで生きるコツをちゃんと身につけていらつしやる。その影響でしょうか、こういう人たちと付き合いをしていると、こちら側も元気になるのです。ありがたいですね。

### 「安全保障関連法」制定の中止を求める意見書案、市議会でもた不採択



何と云うことでしょうか、世論は廃案、制定中止を求める声がどんどん大きくなっているというのに、国に意見をあげないとは。残念な結果になりました。市民クラブや日本共産党議員団などが提出した意見書案は賛成10、反対20で不採択になったのです。

提案理由の説明に立った上野公悦議員は、「政府の安全保障関連法案では、これまで禁じられていた『戦闘地域』への自衛隊派兵を認めようとしている」「自衛隊の武器使用についても、『自己防護』（正当防衛）に限られていたものから、大きく拡大されようとしている」「『存立危機事態』と政府が判断すれば、集団的自衛権を発動する仕組みをつくらうとしている」「住民の命と暮らし・安全に責任を負う自治体として、日本が、戦争をする国へと歩もうとすることを看過することはできない」などとした意見書案を朗読し、賛同を求めました。

賛成討論で本城文夫議員は、「私は戦中、戦後の貧困を経験してきたが、日本が再び戦争への道を進んではならないと思っている一人だ。いま平和憲法が脅かされ、武力行使に進む大きな危険が現実になる寸前だ。いま国民の6割は反対だ。この法案は到底許されるものではない」と主張しました。

反対討論した議員は永島義雄議員など3議員。3人とも共通して北朝鮮、中国脅威論を展開して「安全保障関連法」の制定が必要だとのべました。また、国会での論戦などで憲法違反であることが明白になったにも関わらず、「憲法違反ではない」と強弁し、「自衛隊は海外で武力行使できないこと、これは何も変わっていない」などと述べた議員もいました。反対討論の中身は全体として、国会での議論の到達点を無視したものとなっていましたね。

賛成した10議員は、小林和孝、上野公悦、柳沢周治、平良木哲也、近藤彰治、石平春彦、本城文夫、滝沢一成、中川幹太、草間敏幸議員。

### 上越地域各消防署における空間放射線量測定結果

測定は毎日午前9時。数値はマイクロシーベルト。1時間当たりの測定量です。消防署によると、通常は1時間当たり0.016~0.16μSv(マイクロシーベルト)だとのこと。

	8月26日(水)	9月2日(水)
上越南消防署	0.043	0.053
上越北消防署	0.053	0.053
新井消防署	0.040	0.043
頸北消防署	0.053	0.050
頸南消防署	0.057	0.047
東頸消防署	0.050	0.040
高士分遣所	0.047	0.047
名立分遣所	0.053	0.053